

## 2021年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33101	日本の生活文化 Culture of Livelihood in Japan	高橋知子		専門	1	選択	1.2年後期
<b>科目の概要</b>							
現代日本は情報化が進展し、物質的にも豊かな生活を享受できている。その一方で、古くから受け継がれた年中行事、冠婚葬祭などの伝統的生活文化は、その伝承が薄らぎ、簡略化・変容しつつある。この授業では、日本の生活文化が生まれてきた過程を学習したうえで、現在の生活文化の動向にも注目する。また、世界から見た日本の文化にも触れ、伝統的生活文化の重みや今後のあるべき姿について考察する。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 日本の生活文化を平安時代から現代までたどり、その特徴を、現代との対比のなかで認識する ② 年中行事、冠婚葬祭などに注目し、現代生活での変化を知り、伝統的生活文化についての理解を深める。 ③ 世界からみた日本の生活文化についても考え、今後の生活文化のあるべき姿を考察する。				① 現代に続く生活文化の歴史を理解し、その特徴を現代との対比の中で説明することができる。 ② 年中行事、冠婚葬祭における現代生活での変化について知り、伝統的生活文化について説明することができる。 ③ 世界からみた日本の生活文化について考え、今後の生活文化のあるべき姿について自分の意見を述べるができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	講義内容で取り上げた課題について、自らの生活体験をもとに理解ができる。新聞などにより情報収集を積極的に行って知識を増やすことができる。					
	働きかけ力						
	実行力	講義時間内は、集中力が切れないよう努め、緊張感をもって授業に臨むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	「知らない」から、「気づき」の方向へと自身の関心を向けることができる。そして気づいたことがらを、自身の考えるべき課題としてとらえることができる。					
	計画力						
	創造力	講義内容を自らの生活に関連づけて考え、また、日本人の生活全体に考えを広げることができる。					
チームで働く力	発信力	受講中、自分の考えをまとめて発言、または記述できる。					
	傾聴力	講義に集中して受講でき、内容を理解できる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：授業の内容にそったプリントを配布する。 参考文献：授業にそって紹介する。							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
他科目との関連：「食生活ユニット」の諸科目、「国際交流フィールド」							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
配布プリントに、講義時における補足を記入しておくことが望ましい。また、理解できない時は参考文献や辞書、パソコン検索などで確認しておく。				様々なメディアを通して、今、社会で何が起きているかを知り、自分なりにその原因や背景を考えてほしい。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	62	①	✓			<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容を充分・理解し、要点を把握しているかを評価する。</li> <li>・課題を発見し、適切に自身の主体的な考えを表明しているかを評価する。</li> </ul>	
				②	✓				
				③	✓				
	平常評価	小テスト		28	①	✓			毎回、小テストを行い、内容を理解できているかを確認する。 テストの内容は、毎回のテーマに関するまとめの記述とする。
					②	✓			
					③	✓			
		レポート		0	①				
					②				
③									
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①					
				②					
				③					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）受講中の問いかけに、自己の生活経験を率直に発言できる。 （実行力）受講中、私語などなく緊張感を維持して受講できる。 （課題発見力）問題点を発見し、質疑での発言に結びつけることができる。 （創造力）自らの生活を見直し、将来に向けての見解を述べるができる。 （発信力）明確な言葉で他の受講生に理解が及ぶよう発言できる。 （傾聴力）大事なことはメモしながらしっかりと聞くことができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓					
			③	✓					
総合評価割合		100							

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
筆記試験で、授業要点を8割以上理解し、説明できる。 筆記試験で自己の見解を論理的に記述することができる場合はA(優)とする。自己の見解に提言を含み、論理的に記述できる場合はS(秀)とする。 小テストをすべて論理的に記述できている。	筆記試験で、授業要点を6割以上理解し、説明できる。自己の見解を付加することができる場合をB(良)とし、感想にとどまる場合はC(可)とする。 小テストを記述できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「生活文化」とは何か。 日本の生活文化のはじまり 縄文、弥生時代の生活について、食べ物と住まいを中心に考えてみる。	講義 小テスト	「生活文化」のカバーする範囲の広さについて説明できる。	配布プリントにより「生活文化とは何か」について復習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2	貴族の生活文化 奈良時代から平安時代の貴族の生活を知る。 貴族の衣装と色のコーディネートについて知る。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	束帯と十二単について説明できる。	「平安時代」について予習する。配布プリントにより、現代に受け継がれた事例を復習する。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
3	武士の生活文化 鎌倉時代から室町時代の武士の生活を知る。 一汁三菜の和食の基本形が成立するまでをたどってみる。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	一汁三菜について説明できる。	「鎌倉・室町時代」について予習する。配布プリントにより、現代に受け継がれた事例を復習する。	180	主体性 実行力 課題見 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	江戸時代の生活文化① 和食が完成し、さらに発展するまでの変化を知る。特に、行商人、屋台、料理屋、調味料についても知る。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	江戸庶民の食生活の一部を説明することができる。	「江戸時代」について予習する。配布プリントにより、現代の食生活と比べながら復習する。	180	主体性 実行力 課題見 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	江戸時代の生活文化② 無駄のない都市・江戸の暮らし方を知り、現代のエネルギー消費について考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	江戸の修理業について説明できる。	「循環型社会」について予習する。配布プリントにより、修理や回収業について復習する。	180	主体性 実行力 課題見 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	江戸時代の生活文化③ きもののルーツである「小袖」について知る。形の変化や染織デザインについて、調べてみる。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	小袖の形の変化について説明できる。	「江戸時代の小袖」について予習する。配布プリントにより、小袖について復習する。	180	主体性 実行力 課題見 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	明治維新と食文化 西洋文化の導入による明治以降の食生活の変容を学ぶ。 「とんかつ」が生まれるまでの過程をたどる。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	「とんかつ」の生まれるまでについて説明できる。	「明治時代」について予習する。配布プリントにより、食文化について復習する。	180	主体性 実行力 課題見 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	和装から洋装へ 男性と女性で大きく差があった明治以降の洋装化の過程を学ぶ。	講義 小テスト 前回小テストの内容を、冒頭でフィードバック	鹿鳴館時代について説明できる。	「大正時代」について予習する。配布プリントにより、洋装化の過程を復習する。	180	主体性 実行力 課題見 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	戦後の生活文化 高度経済成長によっ て、大きく変化した、 戦後日本の生活文化を 知る。	講義 小テスト 前回小テストの内容 を、冒頭でフィード バック	戦後からの変化につい て事例をあげて説明で きる。	「高度経済成長」につ いて予習する。配布プ リントにより、戦後か らの変化を復習する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	伝統的な人生儀礼 主に戦前まで行われて きた、誕生、結婚、葬 儀など、人生での通過 点での儀礼を知る。	講義 小テスト 前回小テストの内容 を、冒頭でフィード バック	人生儀礼の一部を説明 できる。	「人生儀礼」について 予習する。配布プリン トにより、人生儀礼の 説明について復習す る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	伝統的な年中行事 お正月やお盆など、季 節の節目に行われてき た行事について知り、 その意味について考え る。	講義 小テスト 前回小テストの内容 を、冒頭でフィード バック	年中行事の一部を説明 できる。	「年中行事」について 予習する。配布プリン トにより、年中行事の 事例を復習する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	変わりゆく人生儀礼・ 年中行事 恵方巻やハロウィン、 七五三など、商業主義 や外国文化の模倣によ り変化する生活文化に ついて考える。	講義 小テスト 前回小テストの内容 を、冒頭でフィード バック	現代の生活文化の変化 の一部を説明できる。	「生活の変化」につい て予習する。配布プ リントにより、現代に受 け継がれた事例を復習 する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	西欧のクリスマス、日 本のクリスマス 宗教が生活に根差して いる西欧のクリスマス を紹介し、日本との比 較をする。	講義 小テスト 前回小テストの内容 を、冒頭でフィード バック	他国の生活文化にも興 味を持つことができ る。	「西欧の生活文化」に ついて予習する。配布 プリントにより、日本 との比較をする。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	世界からみた生活文化 欧米でのジャポニスム の流行について知り、 世界からの日本文化へ の視点について考え る。	講義 小テスト 前回小テストの内容 を、冒頭でフィード バック	「ジャポニスム」につ いて説明できる。	「ジャポニスム」につ いて予習する。配布プ リントにより、世界か ら見た日本について復 習する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	日本の生活文化（まと め） 時代により変容する生 活文化を、私たちは今 後どのように継承して いくべきかについて考 える。	講義 グループ討議 討議講評を通して フィードバック	次代を担う人として、 伝統文化について自己 の見解を述べること ができる。	講義録全体を再読し、 討議内容を踏まえ、自 己の考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力